

人文学部

西洋言語文化学プログラム

取得できる学位 ★学士（文学）

■ プログラムの概要と人材育成のねらい

本プログラムでは、ヨーロッパとアメリカを主とする西洋の言語文化を学ぶ。具体的には、西洋諸言語（英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語など）の運用能力を身に付けるとともに、西洋言語文化の学習・研究を通して、鋭い言語感覚と豊かな表現能力を養うことを目的としている。

西洋言語文化を横断的に学習できる本プログラムは新潟大学人文学部独自のものである。特定の文化にとらわれず、広い視野で世界を理解する能力を得ることは、一般社会におけるあらゆる状況に対応できる力を身に付けることになる。

本プログラムの履修を通して獲得される知識や能力は、中学校・高等学校外国語科教員や翻訳・通訳業など専門性を活かした職業に従事するためにはもちろん、官公庁や民間企業で活躍するためにも必要不可欠なものである。われわれ担当教員は、言語文化の多様性を踏まえた柔軟な思考や行動のできる、个性的かつ協調性豊かな社会人を育成することを目指している。

■ プログラムの到達目標（期待される学修成果）

| 1 | 知識・理解

- 人文科学の専門分野を越えた幅広い知識・視野と深い教養を身に付ける。
- 人文科学の各分野の基礎的知識と情報リテラシーを身に付ける。
- 西洋言語文化圏の作家と文学作品（小説、詩、戯曲など）、文学史についての基礎知識を習得し、言語が創り上げる文化についての理解を深める。文学研究、文学理論・芸術理論とそれを取り巻く議論についての基本的理解を得る。文学的ジャンル以外のテキスト（新聞記事、日記、書簡、Webサイトなど）の本質についての基本的理解を得る。
- 文学的ジャンル以外の諸芸術（音楽、美術、建築、演劇など）についての基礎知識を習得し、それらに対しテキスト研究の技法を応用することにより、芸術文化全般に関する理解をより深める。
- 言語の多様性・特殊性・普遍性を通してその本質を理解するために、西洋言語文化圏の主要な言語についての基礎知識を身につける。今日の言語理論・言語学とそれを取り巻く議論についての基本的理解を得る。

| 2 | 当該分野固有の能力

- 文献講読を通して養われる、論理的な思考力と繊細かつ鋭敏な言語感覚により、読解した結果を明晰に表現することができる。多様な文学研究の方法を理解することで、自身の研究テーマを深く探究することができる。
- 文学的ジャンル以外の諸芸術、さらに、食、旅、ファッション、スポーツ、大衆文化など、生活に関わるあらゆる事象をテキストとして取り上げ、柔軟な発想と鋭い理解力によって考察することができる。文学と文学的ジャンル以外の諸芸術との有機的な関係を探求することができる。さらに、その能力を活かして、各文化圏をフィールドとした実地調査に出ることができる。
- 言語学の基本的な概念を理解し、個々の言語分析に応用することができる。様々な言語分析法を比較検討し、長所・短所を把握した上で、批判的かつ総合的に使用することができる。

| 3 | 汎用的能力

- a) コミュニケーションにおいて言葉を吟味し、適切に運用することができる。さらに、日本語あるいは外国語を用い、口頭および文章で明確に自己表現することができる。
- b) 問題を発見し、既得の知識と調査能力を駆使して、解決法を探し出すことができる。
- c) 様々な文書（テキスト）を歪みなく正確に読み取る一方、多様な視点からの解釈を施すことができる。
- d) 論理的な思考力と繊細かつ鋭敏な言語感覚を発揮することにより、理論的議論と実証的検証を同時に行うことができる。
- e) 言葉と文化の関係に対する深い認識および多文化理解に裏づけられた、偏見に囚われない柔軟な発想をもって行動することができる。
- f) 自分の見解を他者に伝え、理解を求めると同時に、他者を深く理解しようと積極的に働きかけることができる。

| 4 | 態度・姿勢

- a) 人間、社会、文化に関わる諸問題に多角的・分析的にアプローチを試み、主体的に取り組むことができる。
- b) 社会のなりたちとその歴史を深く理解し、人類が生み出した文化に敬意を持ち、その価値を後世に正確に伝えることができる。
- c) 身近な課題の探究を通して、地域社会に貢献する。
- d) 異文化に対する理解を深め、調和ある国際社会の形成に貢献する。

■ プログラムの履修要件

- ・しっかりとした基礎学力と旺盛な学習意欲を持つこと。
- ・豊かな感性と強い関心を持って、学習に取り組むこと。
- ・初修外国語には、ドイツ語、フランス語、ロシア語のいずれかを履修することが望ましい。

■ カリキュラム立案と学修方法についての基本方針

- ・人文学部では、授業科目開設にあたり、教養教育と専門教育の連携の上に構築された学士課程教育の中で、確かな専門知識と幅広い教養を涵養し、人文的实践知を育むことを目指している。